

第3回伊勢市郷土資料館基本計画策定委員会 議事概要

〔日 時〕 令和6年2月27日（火）午後1時30分～午後4時

〔会 場〕 伊勢市役所本庁東館4階 4-2会議室

〔出席者〕 <委 員>全委員出席（7名）

<関係者>株式会社トータルメディア開発研究所

<事務局>文化政策課長、同課長補佐

〔議事概要〕

1. あいさつ

委員長あいさつ

2. 説明事項

・観光客の推移ほか（資料1）

<事務局>

前回委員会の補足資料として提供

<質問・意見と応答>

・外宮だけの人数が分かった方がより参考になる。次回提示のこと。

3. 審議事項

（1）基本構想について（資料2）

<事務局>

前回ご意見いただいた部分を修正した。

<質問・意見と応答>

「3. 現状の課題」の（3）を「市内の博物館との相互連携」に訂正すること。

⇒この修正をもって基本構想（案）とすることを決定

（2）基本計画について（資料3）

<質問・意見と応答>

・展示物に悪影響を及ぼす虫やカビが入ってくるため、展示準備室の窓は閉鎖すべき。また、貴重な資料を置くことになるため、その仕様に合わせた内装材、湿気を吸湿するようなもの等を設計条件として提示する必要がある。

・事務室と展示準備室が直結しているのは良くないので、間に小部屋を設けるのが博物館施設では重要。

・単に部屋を分けるだけではなくて、収蔵庫から資料を出してきて整理できるような、人が2・3人で動けるスペースが理想。

⇒企画展は他館から資料を借用して開催することが前提。展示準備室と考えているところは収蔵庫ではなく、あくまで準備室。今後の考え方にもよるが、収蔵資料のなかで保存に慎重を期

- すようなものの一部は環境を整えてここに収蔵するという考え方もあり得る。
- ・施設の北側から来館される方もいると思うので、素っ気ない感じだとウェルカム感がない。博物館あることが分からない。北側にも入り口であることを分かることが大事。
 - ・展示は時代順になると収まりきらないのではないかと。もう少しテーマを絞ったほうが良いだろう。
 - ・体験ルームはどのような利用を想定しているのか。
- ⇒ 常時利用するスペースではないため、体験ルームあるいは展示スペースに切り替えることも一つの選択として考えている。
- ・地域の人が博物館に展示したいという声があるだろうが、そのような展示は体験ルームでできないか。
 - ・企画展示室と一般展示室の境目をどのように考えるか。入れられる資料とそうでないものがある。なぜかという、虫の付いた資料を入れてしまうと問題である。
 - ・企画展示室は有料ゾーンなので、ここに市民の持ち込みはできないだろう。体験ルームにするのか1階にするのか。そういう場所も必要。
 - ・学校見学を受け入れる場合、何人の生徒が入れるのか。例えば歩いて来られる学校はどれくらいあるのか。そういうPRも必要になってくるはず。
 - ・南側、東南側の窓があるので、基本的には現状の多目的ホールのみを展示室として考える方が良い。
 - ・消火設備はスプリンクラーか。
- ⇒ 現状は消火栓。施設の詳細については引き続き詰めていきたい。
- ・お木曳き車が大きすぎないかという意見もあったが、真ん中に目玉展示があるのは悪くないと思う。ただし、綱を長く引っぱる必要があるのか。お木曳き車だけで良いと思う。
 - ・シアターのサイズはどれくらいなのか。
- ⇒ 団体や学校の校外学習時に有効であることを見越してワイド 3,600 mm くらいを想定。
- ・近現代の展示の位置に違和感がある。映像も出口付近にあると良いのではないかと。企画展示室への入り口にも入りやすくなると思う。
 - ・映像の手前には資料があっても良いので、資料がまったく置けないというわけではない。
 - ・今回は総花的な叩き台を提案いただいているので、ここからブラッシュアップする必要がある。
 - ・伊勢市の自然の展示にこれほどのスペースは必要ない。導入展示で十分。
 - ・実質、古代・中世の伊勢を実物資料で展示しようと思ったら考古になる。
 - ・やはり伊勢の歴史のメインは近世、江戸時代。
 - ・民俗、暮らし、教育関連は、どの博物館の展示を見ても同じ。伊勢独特のものがあれば展示する意味があるが。年 1 回の企画展でやるくらいで良い。民俗はシアターのところで集中的に展示すれば良いのではないかと。
 - ・伊勢の文化の展示は有料ゾーンにある必要があるか。

- ・常設展示は考古と歴史、民俗というふうにはシェイプアップできるのではないか。
- ・伊勢・宇治山田が中心になるのは仕方ないが、大湊を抜かしてはいけないのではないか。
- ・二見町、小俣町、御園村といった合併で伊勢市になった地域にも配慮が必要だと思う。
- ・このスペースではトピック的に展示をするしかないのではないかと思う。
- ・一つのテーマを文献と考古資料、民俗資料で語るというやり方はいくらでもできる。そうしたときに通史展示や、時代順に展示する方法が本当に良いのか。色々な考え方が出来るのは今のうちなので、柔軟な発想を持った方が良いと思う。
- ・近世重視にして地域ごとに出すなら宇治、山田惣中を入口にするとテーマ設定できるのかもしれない。
- ・常設だけだと絶対に飽きられるので、何か新しいものをやらないとリターンは見込めない。維持するためには企画展示室は小さくても必要。
- ・観光案内休憩スペースでは紙やパネルで案内するだけでなく、パソコン等も用いてうまく案内できればと思う。
- ・展示資料で複製を作る場合は早めに取り掛からないと開館に間に合わないので注意が必要。

4. 連絡事項

- ・第4回委員会

⇒3月25日（月）午後1時30分～